

講義科目名称： 環境と健康

授業コード： 51200200 51200210

英文科目名称： Environment & Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
相羽 洋子			
金3、4			
添付ファイル			

科目の概要	公衆衛生の概念とその重要性に関する知識を得ることを目的とし、現代社会における環境と健康の関わりについて講義する。健康状態・疾病の測定と評価のための疫学について講義する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション、健康・公衆衛生の概念 教科書1-12頁を読み、健康及び公衆衛生の定義を理解しておくこと。</p> <p>第2回 公衆衛生と予防医学 教科書12-25頁を読み、公衆衛生活動の概要及び予防医学の歴史を理解しておくこと。</p> <p>第3回 生態系と人々の生活 教科書27-30頁を読み、生態系と人々の生活との関連や地球規模の環境について理解しておくこと。</p> <p>第4回 環境汚染と健康影響(1) 教科書31-34頁を読み、環境汚染問題について理解しておくこと。</p> <p>第5回 環境汚染と健康影響(2) 教科書34-36頁を読み、公害について理解しておくこと。</p> <p>第6回 環境衛生(1) 教科書36-44頁を読み、日常生活における環境問題を理解しておくこと。</p> <p>第7回 環境衛生(2) 教科書44-47頁を読み、日常生活における環境問題を理解しておくこと。</p> <p>第8回 まとめ、中間試験 第1回から第7回まで学修した内容を復習し、中間試験を行う。</p> <p>第9回 保健統計の概要、人口静態統計、人口動態統計 教科書51-64頁を読み、人口静態統計及び人口動態統計を理解しておくこと。</p> <p>第10回 生命表、傷病統計 教科書64-76頁を読み、保健統計の種類や意味を理解しておくこと。</p> <p>第11回 疫学の概念・指標 教科書79-85頁を読み、疫学の定義や指標の意味を理解しておくこと。</p> <p>第12回 疫学の方法 教科書85-99頁を読み、疫学の方法について考え方と手法を理解しておくこと。</p> <p>第13回 スクリーニング 教科書100-103頁を読み、スクリーニングの意義と有効性、手法について理解しておくこと。</p> <p>第14回 根拠に基づいた医療と保健対策 教科書103-111頁を読み、根拠の質及びリスクの捉え方について理解しておくこと。</p> <p>第15回 疫学研究と倫理、まとめ 教科書111-113頁を読み、倫理指針について理解しておくこと。 第9回から第15回まで学修した内容を復習する。</p>
学習到達目標	環境と健康との関わりについて学び、さまざまな環境要因が健康にどのように影響を与えているか理解できるようになることを目的とする。集団における疾病を測定・評価する疫学的手法について学び、健康とそれに影響する要因との関連を理解できるようになる。
授業の方法	講義形式
成績評価の方法	主として、定期試験を基準（80％）とするが、レポート、小テスト、受講態度（20％）も考慮に入れて総合的に評価する。
教科書・テキスト	社会・環境と健康 改訂第6版 古野純典・辻 一郎・吉池信男編、南江堂
参考書	主として、国民衛生の動向 2020-2021（厚生労働統計協会）を使用する。 他は必要に応じてプリントを配布する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞・ニュースなどを通じて、健康や公衆衛生に関する社会的な話題に関心をもつこと。
履修上の留意事項	居眠り、携帯電話・スマートフォンの操作、他の科目の勉強、等は厳禁とする。
オフィスアワー	火曜日 1時限、2時限
実務経験	薬剤師、衛生工学衛生管理者、衛生管理者、VDTインストラクター